

| | | | |
|----------|--|------|------------------------------------|
| 科目名 | 現代経済入門 | 科目分類 | ■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ) |
| | | | 経済学科 ■必修 □選択 |
| | | | 学科 □必修 □選択 |
| 英文表記 | Introductory of Modern Economy | 開講年次 | ■1年 □2年 □3年 □4年 |
| ふりがな | やまもと しゅん | 開講期間 | ■前期 □後期 □通年 □集中 |
| 担当者名 | 山本 俊 | 修得単位 | 2単位 |
| 授業のテーマ | 日本経済の特徴とその問題点を、世界経済と関連付けて学習する。 | | |
| 授業概要 | 授業内容は3つの部分から構成される。第1部では経済システムの形成過程に注目し、第2部では経済の構造的問題を取り上げる。第3部では最近の経済問題に注目する。授業は統計データに依拠したグラフや表を基に進め、客観的で現実に即した授業を心がける。 | | |
| 到達目標 | 各受講者には日本経済の全体像と、個別専門領域に取り組むための基礎事項を修得して欲しい。 | | |
| 授業時間外の学習 | 定期的に配布する確認問題に一生懸命取り組み、解答後に提出して欲しい。復習を徹底して欲しい。 | | |
| 履修条件 | なし。ただし、高校の政治経済の教科書を再読しておいて欲しい。 | | |
| 授業計画 | 講義資料と教科書を併用して授業を進める。 | | |
| 第1回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長①：経済成長は目に見えるのか？ | | |
| 第2回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長②：経済成長に対する物価変動の影響とは？ | | |
| 第3回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長③：経済成長によって何が得られるのか？ | | |
| 第4回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長④：戦後復興期、日本は何を優先したのか？ | | |
| 第5回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長⑤：高度経済成長を実現させた要因は何か？デニソンの見方とは？ | | |
| 第6回 | 第1部 日本の戦後復興と経済成長⑥：石油危機からバブル経済の崩壊まで、低成長時代には何があったのか？ | | |
| 第7回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化①：3つの経済体制と資本主義の台頭とは？ | | |
| 第8回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化②：アングロサクソン型とライン型資本主義の違いとは？ | | |
| 第9回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化③：日本の民間部門の特徴とは？（雇用、企業統治、金融） | | |
| 第10回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化④：グローバル化による日本経済の変化とは？（生産部門） | | |
| 第11回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑤：グローバル化による日本経済の変化とは？（企業統治部門） | | |
| 第12回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑥：グローバル化による日本経済の変化とは？（雇用・労働面） | | |
| 第13回 | 第2部 「失われた20年」と経済のグローバル化⑦：グローバル化による日本経済の変化とは？（金融部門） | | |
| 第14回 | 第3部 我が国の経済問題①：少子高齢化と格差社会の問題。地方創生と経済学の視点。 | | |
| 第15回 | 第3部 我が国の経済問題②：自然環境の変化と食糧問題。持続可能な社会に向けた経済学の役割。 | | |
| 第16回 | 定期試験 | | |
| テキスト | 塚崎公義『よくわかる日本経済入門』朝日新書、2013年 | | |
| 参考文献・資料 | 浅子和美・篠原総一 編『入門・日本経済』有斐閣、2011年（幅広い経済分野をカバーしている） | | |
| 成績評価の方法 | 期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。 | | |
| 成績評価基準 | 【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。 | | |

| | |
|---------------|--|
| オフィスアワー | 月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。 |
| 学生への メッセージ | 日本経済についての好奇心を喚起し、さらに詳しく学びたいような授業としたい。 |